

大雨による浸水を想定し、上芦別町地区で防災訓練を実施

8月30日、上芦別町地区で大雨による浸水を想定した防災訓練が行われました。

訓練は台風により大雨・洪水警報が発令されたとの想定で、上芦別町地区第5町内会と三菱町内会の皆さん約60人が参加。自衛隊車両などで啓南多目的研修センター

に避難し、災害時用段ボールベッド設置や給食訓練を行いました。

また、消防団による土のう積み訓練が行われたほか、芦別消防署員が住民の皆さんに三角巾を使った応急救護法を指導するなど、参加者の皆さんは、災害に対する心構えを新たにしていました。



好天の下、ミュージックとアート、グルメを楽しむ



9月3日、「ミュージック・ハーベスト2017」が北日本自動車大学校グラウンドで開催されました。青空の下で、ロックなどの音楽と芸術を楽しんでもらおうと、地元有志などが実行委員会をつくり、2年ぶり4回目の開催となりました。

当日は好天の下、札幌市を拠点

に活動する「ビート・サンセット」をはじめ、東京や大阪などから計6組が出演し、迫力ある演奏を披露しました。また、市内在住の彫刻家、吉岡滋人さんら美術家の作品も展示され、訪れた人たちは、市内をはじめとする飲食店のさまざまな味とともに音楽とアートを楽しんでいました。

助け合いと相互理解のまちづくり目指して、ふれあい広場を開催

9月3日、「星の降る里ふれあい広場」が、市役所庁舎前のもたち公園で開催されました。

これは、地域で生活する方々が互いに助け合い、理解し合うまちづくりを進めようと芦別市社会福祉協議会と芦別市身体障害者福祉協会が開催しているものです。

当日会場内では、市内の福祉施設

やボランティア団体がバザーやフリーマーケットなどの露店を出店したほか、盲導犬や車椅子の体験コーナーなどが行われました。

また、高齢者健康コンクールの表彰、手話サークルによる合唱やのど自慢大会などが行われ、会場は終日和やかな雰囲気になりました。



「車に気を付けてね」。保育園児が祖父母あてに交通安全はがき製作



9月15日、子どもセンターつばさ保育園の園児が、祖父母あてに交通安全を呼びかけるメッセージはがきを作成しました。

これは、9月21日からの「秋の全国交通安全運動」の一環として行われたもので、同保育園の4、5歳児37人が参加。

「シルバー交通安全ひろめ〜る」

と名付けられたはがきは、8月に芦別警察署のパトカーをバックに撮影した写真をあしらい、「くるまにきをつけてね」と園児が手書きで添えました。

当日は、マスコットのアシボーくんも駆けつけ、園児は「車に気を付けます」と交通安全の気持ちを新たにしていました。